



新しい学習指導要領では、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を主眼として、より具体的かつ、児童生徒の主体性を重視した授業が求められることとなりました。もとより障害のある子どもの教育では、生活に即した学びが求められてきましたが、その基盤となるのは、言葉やイメージを使って考える力（概念形成）です。

障害児基礎教育研究会では、①人間の初期行動の開発を促す教育内容・方法に関する研究、②概念形成、記号操作学習の内容・方法に関する研究、③①②のための、教材教具の開発・工夫・実践を研究方針としてきました。これらは言語交流に困難のある人の主体的な学びを支えたいという願いが背景にあり、自立活動の目的である「心身の調和的発達」の基盤を培うために、「環境の把握」を通してコミュニケーション能力を育てることと言い換えることもできるでしょう。

「障害者の権利に関する条約」では、「インクルーシブ教育」と並んで「生涯学習」の確保が宣言されています。一見生活との直接的な結びつきに乏しく見える、教材教具を通じた学習ですが、一人一人が生き生きと学び、その自信を日常生活に広げ、大人になっても「わかる」ことの喜びがその人を支えていることを子どもや保護者は知っています。この「教材工夫展」を通じて、年齢や障害の程度を問わない学びの喜びがあるということ、多くの方に知っていただけたら幸いです。

（幹事：東京福祉大学 立松英子）



## 第26回 障害児基礎教育研究会

### 教材工夫展

- 日時 2019年8月25日（日）  
9：30－16：30
- 場所 東京福祉大学池袋キャンパス9号館  
（東京都豊島区南池袋2-14-7）
- テーマ 生涯にわたる学びを支える教材教具
- 自由観覧 9：30－13：00  
展示教材観覧／個別の製作相談・教育相談
- 教材製作 10：30－12：00  
・活用紹介 \*教材の製作者自身が、製作の動機や活用の実際について語ります。
- 主催者挨拶 13：00－13：05 代表：吉瀬 正則
- 研究発表1 13：10－13：40  
「点字は架け橋 一緒に作ろう そして心を育もう」 社会福祉法人光道園 岩原 秀子
- 研究発表2 13：50－14：50  
「目の前の生徒から学ぶ初期学習教材での実践－教材の工夫と相互理解」  
神奈川県立武山養護学校教諭 坪井 綾美
- 教育講演 15：00－16：30  
「生涯にわたる学びを支える教材教具」  
東京都立立川ろう学校校長 村野 一臣氏
- 資料代 2000円
- その他
  - ・事前の申し込みは必要ありません。
  - ・保育設備はありませんが、午前中のお子様連れの見学は歓迎します。
  - ・学生の参加は無料とします。

教材工夫展終了後に、近隣のお店で懇親会を行います。どなたでも気軽にご参加ください。参加ご希望の方は、ご所属・ご氏名、研究会へのメッセージを含めて、kisoedu@yahoo.co.jpに8月20日までにご一報下さい。会費は、お一人様5000円です。



### 教材教具とは

- 1 相互交渉の手段となり、共通のことばとなる道具である。
- 2 人間関係を、学習を、成立させ、広げ、深める道具である。
- 3 大人の側からいえば、適切な指導内容を埋め込んだ、発信と受信の道具である。子どもの側からいえば、わかりやすい受信と発信の道具である。
- 4 興味・関心をひき、予測可能な、手がかりの多い、知的好奇心を呼び起こす道具である。

2006年 水口 浚



マッサージからコミュニケーションを始める  
研究会創始者 故水口 浚



# 教材工夫展

生涯にわたる学びを支える教材教具



後援 全国特別支援教育推進連盟

## ご挨拶

「障害児基礎教育研究会（通称 水口研）」は、平成元年に発足しました。杉並区立済美養護学校の校長を退職した故水口俊（みずぐち 俊）先生が、障害児教育のあり方を明らかにすることを目的に設立したものです。

①特別支援教育に携わる教師を中心として、医師、言語聴覚士、作業療法士などの周辺職種や保護者等、障害のある子どもにかかわる多彩な人々が参加しています。

②「見る、見たものに手を伸ばす」など、初期の運動操作から概念形成・記号操作に至るまでの過程を独自の教材教具を開発し、教育実践に基づいて解明しようとしています。

③子どもと支援者である大人が、ともに学び合う存在として、人間関係を深めていくことを大切にしています。

これらを特色として、月1回土曜日に定例の研究協議会や教材製作会を行っています。研究協議会での発表者は、学習場面のビデオ記録を持参し、協議に臨みます。会員にかかわらず、どなたでも参加を歓迎します。

平成19年、水口先生は志半ばに逝去されましたが、その心は会員が受け継ぎ、それぞれの実践の場で、研究を深めてきました。教材教具を作りたい方、事例の協議に参加したい方は、いつでも下記にご相談ください。

障害児基礎教育研究会 代表 吉瀬正則

### <幹事>

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| ○事務局長           | 松村 緑治 |
| ・東京福祉大学・大学院     | 立松 英子 |
| ・筑波大学附属大塚特別支援学校 | 根本 文雄 |
| ・東京都立中野特別支援学校   | 長沼 潤子 |
| ・東京都杉並区立済美養護学校  | 大高 正樹 |
| ・東京都立墨東特別支援学校   | 金子記美恵 |
| ・東京都立多摩桜の丘学園    | 加部 清子 |

☆URL : <http://www.kisoedu.jp>

## 会場

東京福祉大学池袋キャンパス9号館  
地下1階



《住所》〒171-0022

東京都豊島区南池袋2-14-7  
東京福祉大学池袋キャンパス9号館

《電話》03-3987-1445（総務課）

《アクセス》

東京都内  
JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロで  
「池袋駅」東口出て右へ徒歩4分 ジュンク堂書店裏

羽田空港からモノレールで浜松町

浜松町よりJR山手線で池袋

・障害者用トイレ及び休憩所は1階にございます。